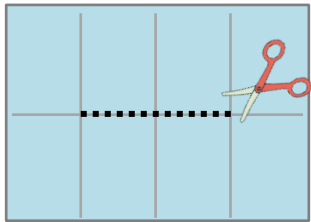


中川尚史／日本語版監修 借成社
越智典子／訳
オーウェン・ライビー／作
K489 『サルってさいこう！』



サルは、すみ場所にあわせ
てすかたをかえてきました。
いま地球には、260 しゆるい
をこえる個性ゆたかなサル
がいます。
たとえば、いちばんかけつ
こが早いサルやいちばん声
が大きいサルたちを、カラフ
ルなイラストでたしかめて
みましょう。



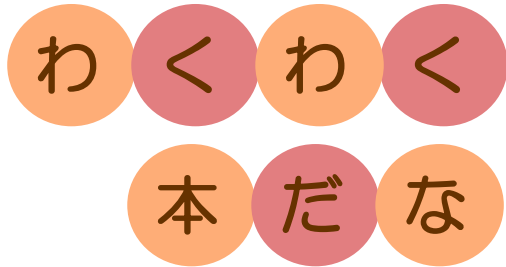
紙を8つにおいて、半分にひろげて
ね。てん線のところに、ハサミで、
きりこみをいれて、くみたてれば、
本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館

富山市西町5番1号

電話 076-461-3200

としょかんのホームページもみてね！



2017年
10月号

1 2 3 年

ケイタは始業式の朝、家
のいわでつばさのあるバク
モノを見ました。かぞくや
友だちに話しますが、だれ
もしんじてくれません。
ところがつぎの日、たん
にんのラジック先生のせな
かにバクモノとおなじつば
さがはえているのを見てし
まいます。



K913 『よらい先生と
ほくのひみつ』
山野辺一記／作 細川貂々／絵
金の星社

えほん
『ロケット発射場の一日』



いわた慎二郎／作・絵
講談社

みなさんはロケットがどの
ようにできるか知っています
か？いくつかにわけてつくら
れ、船や車ではこぼれてから
組み立てられます。組み立て
のようすや、装置のなかをの
ぞいてみましょう。

えほん
『お船がかえる日
チョプラン漂流記』



小林豊／文・絵
岩波書店

江戸時代、日本の船があら
しにあい、台湾へながされて
しまいました。船はこわれ、
日本へかえることができませ
ん。船にのっていた市松は、
みようみまねでチョプラン村
ではたらくことになります。

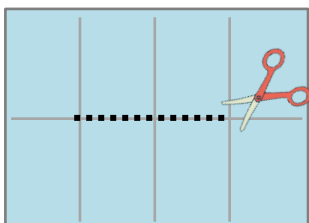
今から30年ほど前まで、飛行機は1年半に1度謎の墜落事故を起こす危険な乗り物でした。事故の謎を解明し飛行機を安全な乗り物にしたのは、藤田哲也という日本人研究者です。藤田さんは、事故の原因が強い力をもつ風ではないかと考えました。そして「ダウンバースト」という怖い現象を発見します。

K489 『Mr.トルナーダ 航空事故を激減させた気象学者藤田哲也』
ミスター トルナーダ 航空事故
佐々木健一／著 小学館

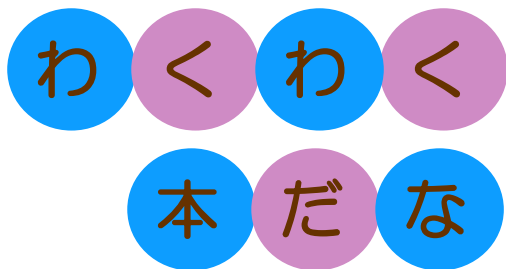


空には、ぐちゃぐちゃになっ
ていてなんだかわからない
ものでいっぱいのカオスな
場所があります。カオスな
場所から出てくる魔法の
魔法瓶は、空飛ぶ魔法瓶に
乗ってカオスを見回す
ことです。ある日、カオスから
出てきた魔法瓶が飛んできて
魔法瓶を壊し、魔法瓶の中
の魔法を置いていきました。

K913 『空で出会った
ふしぎな人たち』
齊藤洋／作 高島純／絵 偕成社



紙を8つにおいて、半分にひろげてね。てん線のところに、ハサミで、きりこみをいれて、くみたてれば、本のかたちになるよ！



2017年
10月号

4 5 6 年



K913 『リンちゃん
とネネコさん』
森山京／作 野見山響子／絵
講談社

リンちゃんは公園へと急いでいました。ふと前を見ると、知らないおばあさんも走っています。横をすりぬけたとたん、おばあさんは「負けてたまるか！」と追いかけてきました。

おしばいのシナリオを考えていたリンちゃんは、このおばあさんにそっくりの主人公がかつやくするおはなしを思いつきます。

編集・発行 富山市立図書館

富山市西町5番1号

電話 076-461-3200

としゃかのホームページもみてね！